

2019年8月23日
株式会社東陽テクニカ

日本最大級のゲーム開発者カンファレンス「CEDEC 2019」で セッション実施&ブース出展

～高速ソフトウェア構成管理ツール「Helix Core」が
「CEDEC AWARDS 2019」の優秀賞を受賞、最優秀賞にもノミネート～

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会が主催する日本最大級のゲーム開発者カンファレンス「CEDEC 2019」^{※1}で、当社が国内独占販売する米・Perforce Software 社の高速ソフトウェア構成管理ツール「Helix Core」のパフォーマンス向上に関する解決策やヒントを紹介するセッションを実施いたします。また、スポンサーブースで Perforce Software 社とイスラエル・Checkmarx 社の、品質・生産性向上ならびにセキュリティ対策を支援する各種ツールを展示いたします（会期：2019年9月4日（水）～6日（金）、会場：パシフィコ横浜会議センター、ブースNo.37）。

「CEDEC AWARDS 2019」^{※2}のエンジニアリング部門において、高速ソフトウェア構成管理ツール「Helix Core」の開発チームが『優秀賞』を受賞し、さらに最優秀賞にノミネートされています。



【セッション情報】

- ・講演日時； 2019年9月4日（水）14:50～15:50
- ・会場； R414+415
- ・タイトル； 「バージョン管理ツール Perforce におけるファイルの同期・サブミットの仕組みと処理速度の関係」
- ・内容； バージョン管理ツール Perforce は、大規模アセットを高速かつ安定的にバージョン管理するためのツールとしてゲーム開発に携わる方々に広くご利用いただいています。大規模アセットの同期・サブミットを複数のユーザーが連続して行う環境下では、Perforce データベースの読み取り専用ロックがファイルの同期・サブミットの速度に影響を与える場合があります。このセッションでは、同期・サブミットの仕組み、読み取り専用ロックと処理速度の関係性、処理速度の改善ポイントをご紹介します。

【ブース展示製品】

◎品質・生産性向上（Perforce Software 社）

高速ソフトウェア構成管理ツール「Helix Core」

企業の重要なデジタルアセットを管理するソフトウェア構成管理ツールをコアにした統合プラットフォーム。ソースコードなどのテキストデータからグラフィックなどの大容量バイナリまで、複数のデータやファイルを含むテラバイト級のアセット群を高速にかつ安定してバージョン管理できる環境を実現。

<特長>

- ✓ 独自のストリーミングプロトコルによる高速なアクセス
- ✓ 大規模開発に適した拡張性、信頼性の高いデータベース
 - テラバイトデータ、10,000+ユーザーをサポート
- ✓ ストリーム機能により、複雑なプロジェクトも容易に管理
- ✓ プロジェクトを可視化するオリジナル GUI
- ✓ セキュアな環境を構築できる柔軟なアクセス制御
- ✓ インテグレーションを容易にする豊富でオープンな API と SDK
 - Jenkins、Redmine、JIRA 連携
- ✓ Windowsをはじめ、Linux、macOS など各種プラットフォームに対応



高速ソフトウェア構成管理ツール
「Helix Core」

★「CEDEC AWARDS 2019」エンジニアリング部門で優秀賞受賞&最優秀賞にノミネート！！★



『大規模バイナリデータを高速で扱えることを強みとして、容量が大きくなりやすいゲームのアセットのバージョン管理を大幅に効率化している点』が高く評価され、「Perforce」開発チームが、エンジニアリング部門で優秀賞を受賞し、さらに、最優秀賞にノミネートされています。

プロジェクト管理ツール「Hansoft」

クライアント・サーバー型の大規模開発支援プロジェクト管理ツール。ウォーターフォール開発からアジャイルやリーン開発まで様々な開発手法を自由に組み合わせて、プロジェクトのスケジュール管理やバックログ管理、バグ管理が可能に。軽快な動作と直観的なインターフェースで、ストレスなく複数のプロジェクトと、それに伴う大量のタスクの優先度や進捗を一元的に管理し、大規模開発で陥りがちな混乱状態を容易に解消。

モバイルテスト自動化支援サービス「Perfecto モバイル」

Web テスト自動化支援サービス「Perfecto Web」

いつでも、どこからでも利用でき、DevOps の開発スピードを損ねることなく、確実かつ継続的にテストを実施できるモバイルアプリと Web アプリのテスト自動化支援サービス。テストの作成、管理、検証、デバックまで全てに対応。位置情報/Touch ID を利用したモバイルアプリやレスポンス/プログレッシブな Web アプリなどの困難なテストシナリオも自動化。AI を利用したダッシュボードで、分析結果とテストの合否が一目で確認でき、即座に不具合修正に取り掛かれる。

◎**セキュリティ対策**（Checkmarx 社）

脆弱性静的解析ツール「Checkmarx CxSAST」

ソースコードに潜む脆弱性を検出し可視化することでセキュアなソフトウェア開発を支援する、セキュリティに特化した高精度で柔軟性のある静的解析ツール。Go や Swift といった最新の言語を含む 20 種類のプログラミング言語で書かれたソースコードを解析し、何百種類もの脆弱性を検出。

インタラクティブアプリケーション脆弱性検査ツール「Checkmarx CxIAST」

Web アプリケーションのセキュリティテストを自動化し、脆弱性を動的かつ継続的に検出する脆弱性検査ツール。Web アプリケーションサーバーに検査エージェントを一度組み込みさえすれば、ソフトウェア開発プロセスに含まれる通常の機能テストを実行すると同時に、エージェントが Web アプリケーションの挙動を自動的に監視して脆弱性をリアルタイムに検出。“DevSecOps”を誰でも簡単に工数を増やすことなく実現でき、セキュリティ面も含めた高品質な Web アプリケーションの迅速なリリースが可能に。

OSS リスク管理ツール「Checkmarx CxOSA」

ソフトウェア開発において広く利用されているオープンソースソフトウェア（OSS）のリスクを可視化し、適切に管理するためのツール。Checkmarx 社が独自にデータベース化した世界中の OSS 情報をもとに OSS ライブラリを解析し、OSS に関連する 3 つリスク（セキュリティ上のリスク、ライセンス上のリスク、運用上のリスク）を自動で分析・可視化。

【 イベント概要 】

- 名称：コンピュータエンターテインメントデベロッパーズカンファレンス 2019（CEDEC 2019）
- 開催日、場所：2019 年 9 月 4 日（水）～6 日（金）、パシフィコ横浜会議センター
- ブース No.：37（3F）
- ◆「CEDEC 2019」セッション＆ブース案内：

https://www.toyo.co.jp/ss/seminar/detail/_cedec2019

◇主催者公式サイト「CEDEC 2019」：<http://cedec.cesa.or.jp/2019/>

※1 一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会（CESA）が主催する、ゲームを中心とするコンピュータエンターテインメントの開発、ビジネス、関連する技術、機器の研究開発などに携わる人々の技術力向上と知識や情報の交流を促進するためのカンファレンス。

※2 CESA が主催する CEDEC AWARDS は、コンピュータエンターテインメント開発の進歩へ顕著な功績のあった技術にフォーカスし、技術面から開発者の功績を称える賞。

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁両立性）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、ライフサイエンスなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジーズ・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ ソフトウェア・ソリューション

TEL：03-3245-1248（直通）

E-mail：ss_sales@toyo.co.jp

・高速ソフトウェア構成管理ツール「Helix Core」：

<https://www.toyo.co.jp/ss/products/detail/perforce>

・プロジェクト管理ツール「Hansoft」：<https://www.toyo.co.jp/ss/products/detail/hansoft>

・脆弱性静的解析ツール「Checkmarx CxSAST」：

<https://www.toyo.co.jp/ss/products/detail/checkmarx>

・インタラクティブアプリケーション脆弱性検査ツール「Checkmarx CxIAST」：

<https://www.toyo.co.jp/ss/products/detail/cxiast>

・OSS リスク管理ツール「Checkmarx CxOSA」：

<https://www.toyo.co.jp/ss/products/detail/cxosa>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。